

## 平成30年度三次市総合教育会議（第5回）会議録

- 1 日 時 平成31年2月1日（金）  
開会：9時30分 閉会：10時30分
- 2 会 場 三次市役所本館3階会議室
- 3 出席構成員  
市 長 増 田 和 俊  
教育長 松 村 智 由  
教育委員 小根森 直 子  
教育委員 土 井 純 子  
教育委員 深 水 顕 真
- 4 出席職員等  
(教育委員会)  
教育次長 長 田 瑞 昭  
事務局付課長 赤 木 実  
学校教育課長 古 矢 俊 彦  
事務局付課長 廣 瀬 恭 子  
(子育て・女性支援部)  
部 長 松 長 真由美  
(事務局)  
総務部長 落 田 正 弘  
秘書広報課長 東 山 裕 徳  
秘書広報課主査 山 口 直 行  
(傍聴者) 1人
- 5 協議事項  
○「第2次三次市教育大綱」（素案）について

秘書広報課主査 　ただ今から、平成30年度第5回三次市総合教育会議を開会する。総合教育会議は、公開により開催する。構成員は市長、教育長、教育委員としており、本日は、藤原委員がご欠席である。

　それでは、まず開会にあたり、増田市長からごあいさつを申し上げます。

増田市長 　構成員の皆さんには、ご都合もある中で、本日もご出席いただきお礼を申し上げます。

　今年度は例年と違い、第2次三次市教育大綱の策定作業をする年度であり、例年にはない回数の総合教育会議を開催させていただいている。5回目の開催となる本日は、前回会議でいただいたご意見を踏まえるなどして修正した大綱（素案）をご覧いただきたいと思う。第2次の大綱は、平成29年12月に策定した「三次市子ども未来応援宣言」を踏まえたものとし、特徴としては乳幼児教育を重点化したことをはじめ、英語教育やICT環境整備の充実、防災教育の推進、学校の情報発信、併設型中高一貫教育校との連携などを盛り込んでいることが挙げられる。

　前回会議以降に、第43回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールで十日市小学校の児童である兄弟二人が文部科学大臣賞と全国農業協同組合中央会長賞を受賞、平成30年度文部科学大臣優秀教職員組織に係る表彰を甲奴中学校が受賞、そして第20回NHK全国短歌大会（ジュニアの部）で布野中学校が学校大賞を受賞という朗報が立て続けに入った。市内小中学校、児童・生徒の今後ますますの飛躍を期待したい。

秘書広報課主査 　それでは、続いて、次第の「2協議事項」に入りたい。

　これより会議の進行は議長である増田市長にお願いしたい。

増田市長 　それでは、「第2次三次市教育大綱」（素案）について、協議していきたい。まずは、お配りしている資料について、事務局から補足説明をしてもらいたい。

秘書広報課長 　1月21日の第4回会議でお示した「第2次三次市教育大綱」（素案）を、当日のご意見等を踏まえて修正したものを本日資料としてご用意している。まず、補足説明を教育委員会の長田教育次長からさせていただく。

教育次長 　基本目標ⅡとⅢについて補足説明をさせていただく。前回見出し2の○項目としていたもの2つを、見出し1で挙げるのが適切であると考え、見出し1に移動させていただいた。

　基本目標Ⅱの見出し2については、「グローバル社会の中で」と

いう文言を追加して、その中の○項目については、2つ目と3つ目のところを大幅に見直した。

基本目標Ⅱの見出し3については、3つ目の○項目として、防災教育の推進を追加した。また、基本目標Ⅱの見出し4については、4つ目の○項目として、学校の情報発信・情報公開の充実を追加した。

基本目標Ⅲの見出し2については、「平和・人権学習」という文言を追加している。

秘書広報課長      その他の補足説明としては、今年元号が変わるため、西暦をかつこ書きで各所に追記している。

増田市長          それでは、修正した大綱（素案）について、構成員から率直なご意見をいただきたい。

松村教育長      今までの会議の意見等を踏まえた上で、本日の大綱（素案）を示してもらったと感じている。

小根森委員      これまで、新しい教育大綱の策定にあたっては、丁寧に作業を重ねることができ、満足できるものができつつあると思う。第2次三次市総合計画とみよし教育ビジョンを十分に踏まえたものとなっている。

印象深い点として、乳幼児教育に大変力が入っていることが挙げられる。本人へはもちろん家庭に対する支援にも取り組むとしたことは非常に大きい。また、グローバル社会におけるコミュニケーションについては、英語教育は三次市としても以前から取り組んでいたところだが、日本語でのコミュニケーションについても言及されていることは、意義があることだと思う。一人ひとりの能力を自分らしく伸ばしていくことができる教育に三次市の教育がなればよいと思う。そのためにも地域全体で取り組むことが必要であるので、学校が情報を発信し、公開することが大切で、そのことにより地域の方に教育に参加してもらえることになる。

社会は予測できない変化をしているので、その都度P D C Aサイクルを実行しながら、途中での見直しをして、変化に対応できる教育大綱であってほしい。市民の皆さんが理解して活用していただける教育大綱にしたい。

土井委員          市民の皆さんにしっかり読んでいただきたいので、分かりやすくやさしい文言をなるべく使っていただくようお願いしてきたが、そのように取り組んでいただけたと思っている。

学校からの情報発信については、学校からの働きかけがどのよ

うにされるかで、地域の皆さんの姿勢も随分変わると思う。人と人とのつながりを大事にしていくためには、地域の皆さんがどのように生きてこられたかという学びをしっかりと学校教育の中に取り入れて、三次ならではの教育をしてもらいたいと思う。

深水委員 この大綱を市内の教育方針の基盤とする意識が大切である。この大綱に基づき、行政と市民が教育に取り組んでいく姿を願っている。学校の情報発信について盛り込んでもらったことはお礼を申し上げたい。基本目標Ⅱの見出し2の○項目の3つ目については、「性別」という言葉は残してもらいたいと思う。

秘書広報課長 「性別」という言葉は残します。

増田市長 三次市教育大綱を基軸にしながら、さまざまな取り組みを進めていきたい。今後のスケジュールを事務局から説明してもらいたい。

秘書広報課長 今後、再度文言整理も行い、大綱（素案）を大綱（案）としていきたい。大綱（案）については、後日配布させていただきたい。大綱（案）は、市議会への説明やパブリック・コメントを経て、最終的には3月中に策定完了としていきたい。

増田市長 大綱（素案）以外のことで何か意見や質問があるか。

深水委員 できるだけ学校間で交流がしやすいように、バスの手配など行き来しやすい環境づくりを考えてもらいたい。

増田市長 学校間の交流もそうだが、住んでいる地域の学校に通いながら、やりたいスポーツがその地域・学校ではできないために、住んでいる地域とは別のところのスポーツ少年団に入っている子どももいる。やりたいスポーツができるための環境づくりも考えていきたい。教育委員会でもよく考えてみてほしい。

深水委員 ぜひ、学校間交流やスポーツしやすい環境づくりをサポートしてもらいたい。

増田市長 それでは最後に教育長から一言お願いしたい。

松村教育長 特色ある学校づくりの取り組みの中で、学校によっては学校間交流のための交通費の要望もある。先ほどの市長と深水委員のご意見を踏まえ、実施できるように検討をしていきたい。

この三次市教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づくもので、総合教育会議において、市長と教育委員会とが協議をしたうえで策定されることになっている。本日は大綱（素案）について一定の方向性を固めたものとして、今後は次のステージへ移っていくことになる。この教育大綱を策定することは、教育への地域住民の民意の反映、自治体における教育施策を総合的に推

進していくという目的がある。教育委員会には予算執行権そのものはないが、総合教育会議を通じて教育にかかる予算計画について、教育委員会の考えを市長に伝えることができ、共有できる場である。引き続き、総合教育会議を通じて、市長部局と教育委員会が一丸となって、三次市の教育、学術及び文化の振興を図っていくことができるように、ともに知恵を出し合っていきたい。

秘書広報課主査 以上で、平成30年度第5回三次市総合教育会議を終了する。